

数学I・数学A
記述式を含む参考問題例正解

	解答記号	正 解
問題例 1	(あ)	(2 ページを参照)
	$\frac{\sqrt{\text{アイ}-\text{ウ}}}{2}$	$\frac{\sqrt{13}-3}{2}$
	0. エオカ	0.110
	キ	6
	クケ°	60°
	コ	4, 5, 6, 7 (4つマークして正解)
	サ	3
	(い)	(2 ページを参照)

	解答記号	正 解
問題例 2	ア	4
	$\frac{\text{イウ}}{\text{エ}}x^2 + \text{オカキ}x$	$\frac{-5}{2}x^2 + 220x$
	(う)	(3 ページを参照)
	ク	6

問題例 1 (あ)

《正答例》

誤りである式変形の記号：B

理由

例 1： $\sqrt{(a+1)^2} \geq 0$ であるが、 $a < -1$ のときは $a+1 < 0$ であり、等式が成り立たないから。

例 2： $a = -2$ のときは $a+1 < 0$ であり、 $a = -2$ が反例となっているから。

例 3： $a < -1$ のときに $\sqrt{(a+1)^2}$ は $-a-1$ と等しくなるから。

《留意点》

- 反例は、 $a < -1$ を満たす実数 a であればすべて正答とする。
- 前後の文脈により正しいと判断できる書き間違いは基本的に許容するが、正誤の判断に影響するような誤字・脱字は誤答とする。

問題例 1 (い)

《正答例》

$$3 \cos(\theta_2 - \theta_1) - 3 \cos \theta_2$$

《留意点》

- $3 \cos(\theta_2 - \theta_1) - 3 \cos \theta_2$ と同値な式は正答とする。

問題例 2 (う)

《正答例》 上に凸で，頂点の x 座標が正であるという特徴。

《留意点》

- 二つの語句「凸」と「頂点の x 座標」を用いていないものは誤答とする。
- 特徴を図のみで表現しているものは誤答とする。
- 前後の文脈により正しいと判断できる書き間違いは基本的に許容するが，正誤の判断に影響するような誤字・脱字は誤答とする。